

【演習の目的】

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で17回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和6年10月23日(水)～11月1日(金)の間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

その他関連する訓練

- 統合後方補給
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙状況監視に係る連携
- 統合電磁波作戦訓練



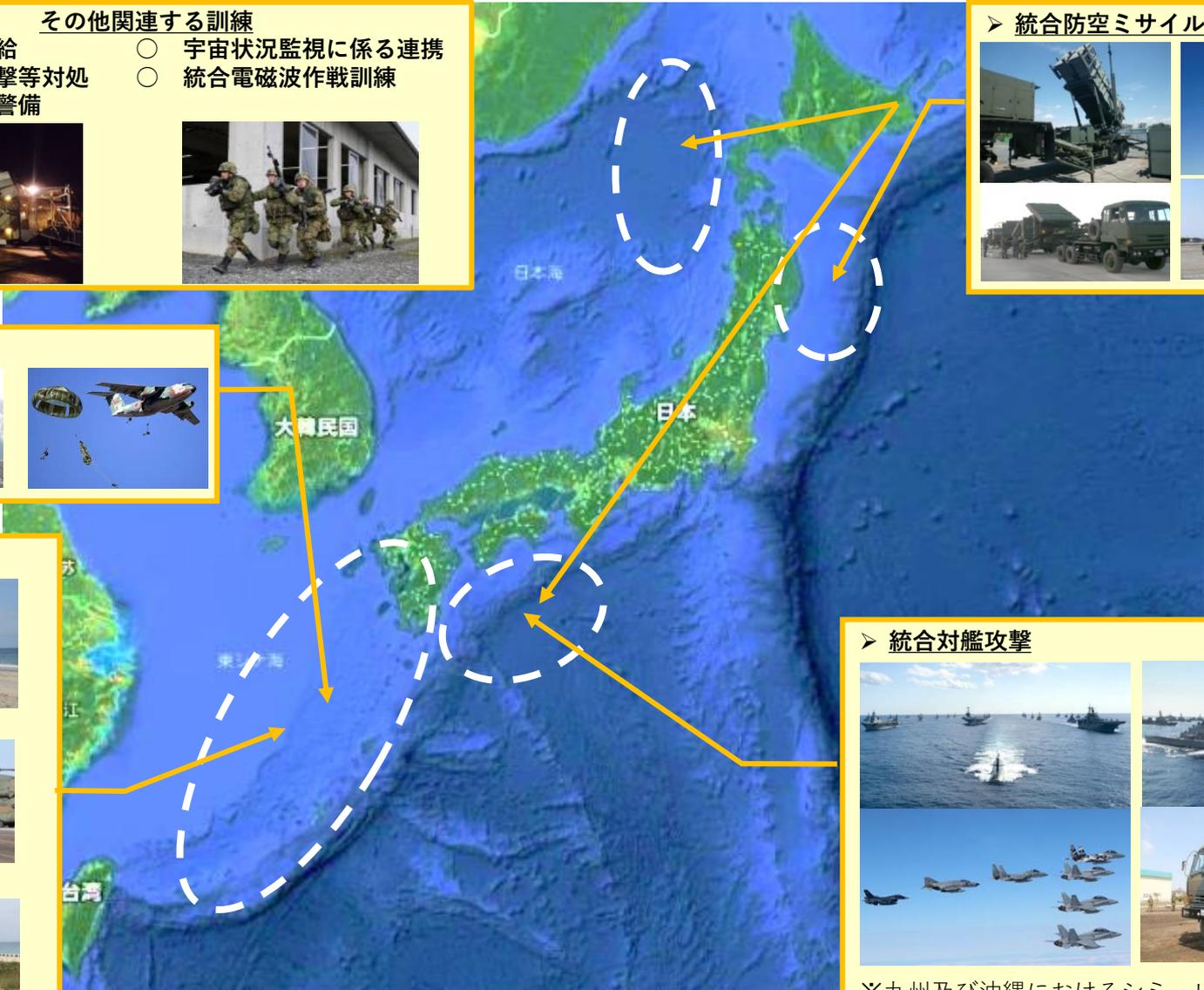
統合防空ミサイル防衛

空挺作戦

水陸両用作戦

統合対艦攻撃

※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。



令和6年度日米共同統合演習(実動演習)の 鹿児島県における訓練について(1/2)

同演習において実施する鹿児島県内の訓練は、

① 陸上作戦(協同基地等警備訓練)

奄美大島:奄美駐屯地、奄美大島分屯基地、ハトハマオート

沖永良部島:沖永良部島分屯基地、大山グラウンド、大山野営場、和泊町研修センター、田皆岬

徳之島:天城総合運動公園、徳之島総合運動公園、寝姿山

喜界島:喜界島通信所、旧小野津小学校

川内通信支所、下甕島分屯基地、鹿屋航空基地、串良送信所、根占受信所

② 陸上作戦(着上陸訓練)

徳之島:花徳海岸、山漁港、徳之島総合運動公園、前泊漁港、面縄漁港、母間新港、手々浜海浜公園、
徳之島ヘリポート、天城岳山地、井之川岳山地、犬田布岳山地

③ 陸上作戦(山地機動訓練)

徳之島:天城岳山地、井之川岳山地、犬田布岳山地、花徳海岸、山漁港、面縄漁港、鹿浦漁港、前浜漁港、
徳之島総合運動公園、岩石採取所、伊仙町総合グラウンド、旧マリパーク、喜念浜バンガロー、
手々浜海浜公園

④ 陸上作戦(対着上陸訓練)

奄美大島:奄美駐屯地、瀬戸内分屯地、

徳之島:花徳海岸、山漁港、小唄記念碑、徳之島総合運動公園、岡前西総合公園、天城総合運動公園、上
名道森公園、天城防災センター、寝姿山、犬田布岬、上花徳農業研修館、当部公民館、徳之島保
健所、闘牛場、電波塔、金見岬、面縄漁港、前泊漁港、母間新港

⑤ 海上作戦

鹿屋航空基地

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)の 鹿児島県における訓練について(2/2)

⑥ 統合後方補給・衛生訓練

奄美大島:奄美空港、奄美駐屯地、瀬戸内分屯地、奄美パーク(旧滑走路)、名瀬港

徳之島:平土野港、徳之島総合運動公園

沖永良部島:沖永良部島分屯基地

鹿児島港

⑦ 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)

奄美大島:奄美空港、徳之島:徳之島空港、鹿屋航空基地

⑧ 沿岸監視訓練・対空戦闘訓練

奄美大島:奄美少年自然の家、蒲生崎観光公園、あかさき公園、今井崎、梵論瀬崎、赤土山展望台、
白浜海水浴場、高地山展望台、タカバチ山、笠利崎、あやまる公園、二つの海が見える丘、
崎原桜通り

⑨ 航空作戦(高射部隊の機動展開訓練)

沖永良部島:沖永良部島分屯基地、大山野営場、笠石海浜公園、伊延漁港、大山グラウンド

⑩ 統合電磁波作戦訓練

奄美大島:奄美大島分屯基地

佐多射場

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

鹿児島県内（奄美大島）で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦（協同基地等警備訓練）

陸上自衛隊の部隊が自衛隊基地等に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施するほか、一部防護施設（奄美駐屯地、奄美分屯基地）を作成して訓練を実施します。なお、実弾は使用しません。

【期 間】令和6年10月23日（水）～11月1日（金）（前後に準備期間及び撤収期間を設定）

※自衛隊施設は夜間訓練、空包使用を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊：北部方面隊（第5旅団等）、西部方面隊（第8師団）

航空自衛隊：南西航空方面隊

訓練予定場所

車両等は、民航フェリー等で名瀬港に輸送予定です。



展開人数等

基地等	展開等する陸自部隊
奄美駐屯地	第5旅団 約200名
奄美大島分屯基地	第5旅団第5戦車隊 約50名 北部方面対舟艇対戦車隊 約50名 第8師団 奄美警備隊 約30名
ハトハマオート	第5旅団 約100名 ※天幕を設営した宿泊場所・車両の駐車位置として使用

訓練イメージ



鹿児島県内（奄美大島）で実施を計画している訓練内容 ①陸上作戦（協同基地等警備訓練）

補足資料

- 凡 例
- : 使用経路
 - : 港 湾
 - : 駐屯地等

- 主要車両**
- 小型トラック**

 - 中型トラック**

 - 大型トラック**

 - 軽装甲機動車**




- 名瀬港から各駐屯地等への輸送はトレーラにより実施
- 輸送は夜間等の時間を活用
- 輸送に際しては、砲塔に覆いを装着

鹿児島県内（喜界島）で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦（協同基地等警備訓練）

陸上自衛隊の部隊が自衛隊基地等に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。なお、実弾は使用しません。

【期 間】令和6年10月23日（水）～11月1日（金）（前後に準備期間及び撤収期間を設定）

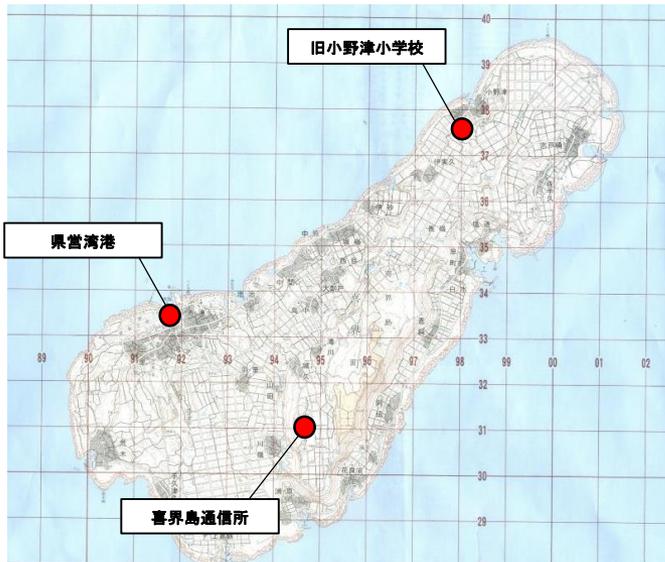
※自衛隊施設は夜間訓練、空包使用を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊：北部方面隊（第5旅団等）、西部方面隊（第8師団）

情報本部：喜界島通信所

訓練予定場所

車両等は、民航フェリーで
県営湾港に輸送予定です。



展開人数等

基地等	展開等する陸自部隊
喜界島通信所	第5旅団第27普通科連隊 約40名 第8師団奄美警備隊 約60名
旧小野津小学校	第5旅団第27普通科連隊 約40名 第8師団奄美警備隊 約60名 ※宿营地として使用します

訓練イメージ



鹿児島県内（徳之島）で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦（協同基地等警備訓練）

陸上自衛隊の部隊が自衛隊基地等に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。なお、実弾は使用しません。

あわせて、通信の中継訓練を実施するため、通信部隊が生地（寝姿山）に展開します。

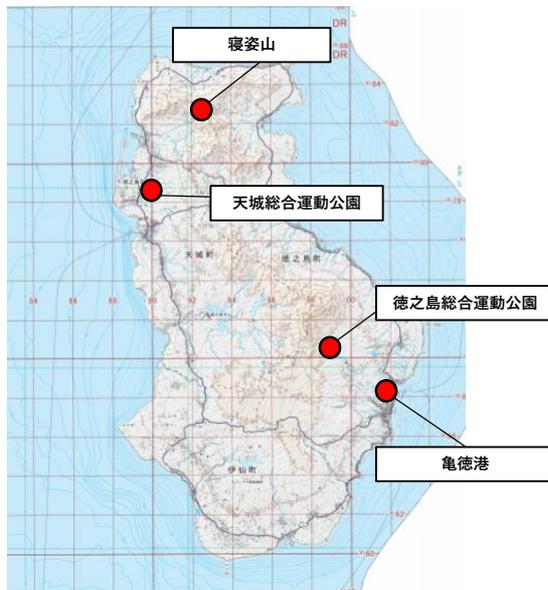
【期 間】令和6年10月23日（水）～11月1日（金）（前後に準備期間及び撤収期間を設定）

※自衛隊施設は夜間訓練、空包使用を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊：北部方面隊（第5旅団等）

訓練予定場所

車両等は、民航フェリー等で亀徳港に輸送予定です。



展開人数等

基地等	展開等する陸自部隊
天城総合運動公園	第5旅団第27普通科連隊 約80名 ※宿营地として使用します
徳之島総合運動公園	第5旅団第27普通科連隊 約40名
寝姿山	第5旅団第27普通科連隊 約40名

訓練イメージ



鹿児島県内（沖永良部島）で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦（協同基地等警備訓練）

陸上自衛隊の部隊が自衛隊基地等に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。なお、実弾は使用しません。

【期 間】令和6年10月23日（水）～11月1日（金）（前後に準備期間及び撤収期間を設定）

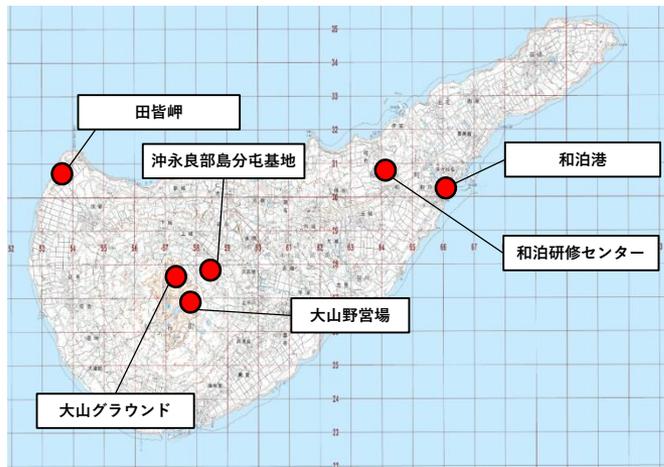
※自衛隊施設は夜間訓練、空包使用を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊：北部方面隊（第5旅団等）、東部方面隊（第2高射特科群）

航空自衛隊：南西航空方面隊（第55警戒隊）、北部航空方面隊（北部高射群）、航空システム通信隊

訓練予定場所

車両等は、民航フェリー等で和泊港に輸送予定です。



展開人数等

基地等	展開等する陸自部隊
沖永良部島分屯基地	第5旅団第27普通科連隊 約40名
大山グラウンド	第5旅団第27普通科連隊 約40名 北部高射群 約60名
大山野営場	第5旅団第27普通科連隊 約40名 北部高射群 約60名 ※宿営地として使用します
和泊研修センター	第5旅団第27普通科連隊 約40名 ※宿営地として使用します
田皆岬	東部方面隊第2高射特科群 約20名

訓練イメージ



鹿児島県内で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦(協同基地等警備訓練)

陸上自衛隊の部隊が自衛隊基地等に展開し、各部隊等による基地等警備訓練を実施するほか、防護施設を作成して訓練を実施します。なお、実弾は使用しません。

- 【期間】** 訓練準備：令和6年10月20日(日)～22日(火)
 協同訓練：令和6年10月23日(水)～31日(木)
 撤収等：令和6年11月1日(金)～3日(日) (以降は再展開として現地離脱予定)
 ※夜間訓練、空包使用を含みます。
- 【参加部隊】** 陸上自衛隊：東北方面隊第6師団
 海上自衛隊：鹿屋基地警備隊、鹿屋システム通信分遣隊
 航空自衛隊：第9警戒隊

訓練予定場所



展開人数等

基地等	展開等する陸自部隊
川内通信支所	東方面特科連隊(岩手)約130名
下甌島分屯基地	第44普通科連隊(福島)約100名
鹿屋航空基地	第22即応機動連隊(宮城)約50名
串良送信所	第44普通科連隊(福島)約100名
根占受信所	第44普通科連隊(福島)約100名

訓練イメージ



防護施設の構築



協同訓練

鹿児島県(徳之島)で実施を計画している訓練内容

②陸上作戦(着上陸訓練:日米共同自由降下)

- 陸上自衛隊の回転翼機(CH-47)から徳之島への日米共同自由降下訓練を行います。
- 日米共同訓練は自由降下及び降着地域での行動のみを訓練します。降下後は、降着場所において、海から上陸した部隊との会合、両部隊で連携した警戒等の行動を実施します。
- 米軍部隊は最終日の日米共同降下終了後、帰隊します。
- 訓練間、武器(小銃等)を携行しますが、空包等の使用はありません。

【期間】 10月24日(木)～27日(日): 共同自由降下訓練(降下予備日を含む。)(事前に準備期間を設定)

【場所】 降下場: 花徳海岸及び山漁港海岸

発進飛行場: 徳之島総合運動公園及び徳之島ヘリポート

【参加部隊】

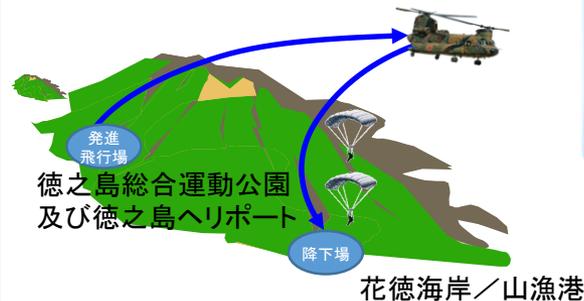
日: 陸自第1ヘリコプター団(CH-47)、第1空挺団(約20名)

米: 海兵隊第3海兵遠征軍第3偵察大隊(約5名)

訓練予定場所



訓練イメージ



【CH-47】



【航空機からの跳び出し】



【自由降下】



【降着後の行動】



連番	訓練等	時期	場所	人数	航空機の運用(基準)
①	自由降下	R6.10.24及び25 (09:00～18:00) (1日2回実施予定)	山漁港	日:約20名 米:約5名	・陸自CH-47×1 ・徳之島総合運動公園～ 山漁港
②		R6.10.26(予備10.27) (09:00～18:00)調整中 (1日2回実施予定)	花徳海岸		・陸自CH-47×1 ・徳之島総合運動公園～ 花徳海岸
③	米軍の 帰隊	R6.10.27	徳之島 総合運動 公園	米:約5名	・陸自CH-47×1 ・徳之島総合運動公園 ～那覇

※ 第1空挺団の隊員は、R6.10.27～29の間、那覇に移動

②陸上作戦(着上陸訓練:水陸両用作戦)

- 陸上総隊(水陸機動団)が日米エアクッション艇等を使用し、海路による徳之島への上陸訓練(陸自単独)及び陸自オスプレイを使用した空中機動による上陸訓練(陸自単独)を行います。
- 徳之島への着上陸に先立ち、着上陸地点周辺水域において、日米共同水際障害処理訓練、ドローン飛行訓練及びヘリキャスティング訓練を行います。
- 米軍等の部隊は、最終日の着上陸訓練終了後、帰隊します。
- 訓練間、武器(小銃等)を携行しますが、空包等の使用はありません。

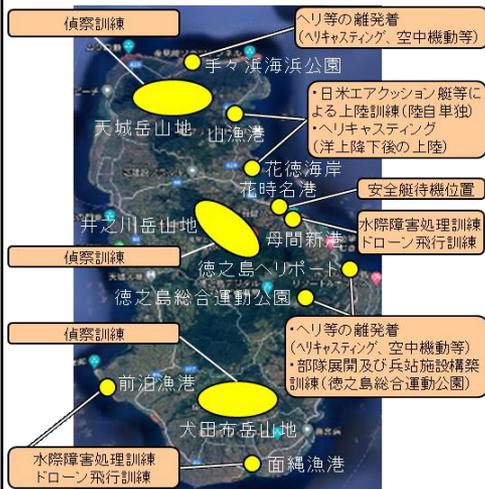
【期 間】 10月23日(水)～10月29日(火) (事前に米軍部隊の移動を含む準備期間を設定)

【場 所】

- 日米共同水際障害処理及びドローン飛行訓練 : 花徳海岸、前泊漁港、面縄漁港、母間新港
- ヘリキャスティング・日米エアクッション艇等による上陸訓練 : 花徳海岸及び山漁港(花時名港に安全艇が待機)
- ヘリキャスティング・空中機動(ヘリ発着地) : 手々浜海浜公園、徳之島総合運動公園、徳之島ヘリポート
- 部隊展開及び兵站施設構築訓練 : 徳之島総合運動公園
- 偵察訓練(自衛隊単独) : 天城岳山地、井之川岳山地、犬田布岳山地

【参加部隊】日: 陸上総隊(水陸機動団等)(約400名)、海上自衛隊爆発物処理部隊(約10名)、第1ヘリ団(V-22及びCH-47)
米: 第3海兵 遠征軍、第9工兵支援大隊 等

訓練予定場所



訓練のイメージ



連番	訓練	時期	場所	人数
①	水際障害処理訓練	R6.10.23～29	花徳海岸、面縄漁港、前泊漁港、母間新港	日:調整中 米:13名
②	ヘリキャスティング (陸自CH-47)	R6.10.24	艦艇～洋上～花徳海岸	日:10名 米:10名
③	空中機動 (陸自オスプレイ)	R6.10.24(予備10.25) R6.10.27(予備10.28)	艦艇～手々浜海浜公園又は徳之島総合運動公園あるいは徳之島ヘリポート	日:45名 米:なし
④	日米エアクッション艇等による上陸訓練	R6.10.24及び25(昼間)	花徳海岸及び山漁港	日:300名 米:なし
		R6.10.26～27	花徳海岸	
⑤	部隊展開及び兵站施設の構築	R6.10.27～29	徳之島総合運動公園	日:50名 米:20名程度
⑥	偵察訓練(陸自単独)	R6.10.27～28(予備10.29)	天城岳山地、井之川岳山地、犬田布岳山地	日:100名
⑦	帰 隊	R6.10.28(予備10.29)	手々浜海浜公園又は徳之島総合運動公園あるいは徳之島ヘリポート	日:350名



鹿児島県(徳之島)で実施を計画している日米共同訓練内容

③陸上作戦(山地機動訓練)

- 陸上総隊、米陸軍等の一部の部隊が米固定翼機(C-130)からの自由降下(降下員:陸上自衛隊約10名、米軍約15名)及び偵察ボート等により徳之島に着上陸し、徳之島内部の山地において、日米共同による山地機動訓練、偵察訓練等を実施します。
- 上記訓練に接続し、ヘリ等離発着訓練(陸自ヘリ(CH-47、UH-60)及び米垂直離発着機(CV-22))を実施します。
- 訓練間、武器(小銃等)を携行しますが、空包等の使用はありません。

【期 間】

- 10月23日(水) : 自由降下による空路潜入
- 10月24日(木)~25日(金): 偵察ボート等による上陸訓練
- 10月23日(水)~25日(金): 山地機動訓練、地上偵察訓練等
- 10月25日(金) : ヘリ等離発着訓練(陸自ヘリ及び米垂直離発着機)

【場 所】

自由降下及び偵察ボート等による上陸訓練: 花徳海岸、山漁港、面縄漁港、鹿浦漁港及び前浜漁港

山地機動訓練 : 太田布岳山地、井之川岳山地及び天城岳山地(内1か所)

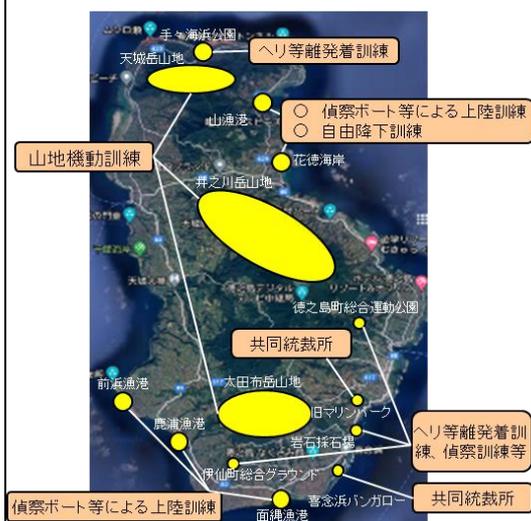
偵察訓練等 : 徳之島町総合運動公園、岩石採取場、伊仙町総合グラウンド

ヘリ等離発着訓練: 手々浜海浜公園、伊仙町総合グラウンド及び岩石採取場

共同統制所 : 旧マリナーパーク、喜念浜バンガロー

【参加部隊】日: 陸上総隊、米: 米陸軍等

訓練イメージ



訓練イメージ



鹿児島県内(奄美大島・徳之島)で実施を計画している訓練内容

④陸上作戦(対着上陸訓練 1/2)

- 徳之島及び奄美大島において、対着上陸訓練として、日米共同調整所の運営訓練、着上陸部隊に対する日米共同による情報収集訓練及び対艦戦闘訓練、陸上自衛隊単独による電磁波作戦訓練を実施します。
- 奄美大島において訓練に参加する米軍部隊は奄美駐屯地及び瀬戸内分屯地に、徳之島において訓練に参加する米軍部隊は徳之島に宿泊し、訓練終了後、民航機及び米軍機により帰隊します。
- 訓練間、武器(地对艦ミサイル、小銃等)を携行しますが、空包等の使用はありません。
- 電磁波作戦訓練では実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運行等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】 令和6年10月23日(水)～11月1日(金) (前後に準備期間及び撤収期間を設定)

【参加部隊】 陸上自衛隊： 第8師団、第1地对艦ミサイル連隊、第3地对艦ミサイル連隊、第2情報隊、第5情報隊、第14情報隊、情報教導隊、第3高射特科群

米 軍： 第12沿岸海兵連隊、米陸軍第17野戦砲旅団、米海兵隊第3偵察隊



① 日米共同調整所	
期間	R6.10.23～11.1(前後に準備期間及び撤収期間を設定)
場所	瀬戸内分屯地
部隊	(日)第8師団(約20名) (米)第12沿岸海兵連隊(約50名)
② 対艦戦闘訓練	
期間	R6.10.23～11.1(前後に準備期間及び撤収期間を設定)
場所	奄美大島： 奄美駐屯地、瀬戸内分屯地 徳之島： 上花徳農業研修館、徳之島総合運動公園等、花徳海岸、山漁港、面縄漁港、前泊漁港及び母間新港
部隊	奄美駐屯地 (日)第1地对艦ミサイル連隊(レーダシステム×1) (米)米陸軍第17野戦砲兵旅団(HIMARS×1、アヴェンジャー×1)
	瀬戸内分屯地 (米)第12沿岸海兵連隊(HIMARS×1、JLTV×1)
	上花徳農業研修館、徳之島総合運動公園等 (日)第3地对艦ミサイル連隊(発射機×2 等)
	花徳海岸、山漁港、面縄漁港、前泊漁港、母間新港 (日)第8師団(マリンレーダ、機動戦闘車等) (米)第3偵察隊(マリンレーダ)



共同調整所



レーダシステム



発射機



マリンレーダー



機動戦闘車



HIMARS



アヴェンジャー



JLTV

※ 奄美大島へのHIMARS等の輸送は、米軍機による奄美空港への空輸を予定していますが、名瀬港も使用する可能性があります。

鹿児島県内(奄美大島・徳之島)で実施を計画している訓練内容

④陸上作戦(対着上陸訓練 2/2)

- 徳之島及び奄美大島において、対着上陸訓練として、日米共同調整所の運営訓練、着上陸部隊に対する日米共同による情報収集訓練及び対艦戦闘訓練、陸上自衛隊単独による電磁波作戦訓練を実施します。
- 奄美大島において訓練に参加する米軍部隊は奄美駐屯地及び瀬戸内分屯地に、徳之島において訓練に参加する米軍部隊は徳之島に宿泊し、訓練終了後、民航機及び米軍機により帰隊します。
- 訓練間、武器(地对艦ミサイル、小銃等)を携行しますが、空包等の使用はありません。
- 電磁波作戦訓練では実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運行等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】 令和6年10月23日(水)～11月1日(金) (前後に準備期間及び撤収期間を設定)

【参加部隊】 陸上自衛隊： 第8師団、第1地对艦ミサイル連隊、第3地对艦ミサイル連隊、第2情報隊、第5情報隊、第14情報隊、情報教導隊、第3高射特科群

米 軍： 第12沿岸海兵連隊、米陸軍第17野戦砲旅団、米海兵隊第3偵察隊



③ 情報収集訓練	
期間	R6.10.23～11.1(前後に準備期間及び撤収期間を設定)
場所	瀬戸内分屯地、犬田布岬(徳之島)、花徳海岸及び山漁港(徳之島)
部隊	瀬戸内分屯地：(米)第12沿岸海兵連隊(SIMRADレーダ) 花徳海岸、山漁港：(日)第8師団(機動戦闘車) (米)第3偵察隊(マリンレーダ) 犬田布岬岬：(日)第2・14情報隊及び情報教導隊(無人偵察機)



SIMRADレーダ



機動戦闘車

④ 電磁波作戦訓練		
期間	R6.10.23～11.1(前後に準備期間及び撤収期間を設定)	
場所	小唄記念碑、徳之島総合運動公園、寝姿山、金見崎	
部隊	日	電子作戦隊、西部方面システム通信群(ネットワーク電子戦システム)
	米	—



無人偵察機



ネットワーク電子戦システム

鹿児島県内で実施を計画している訓練内容

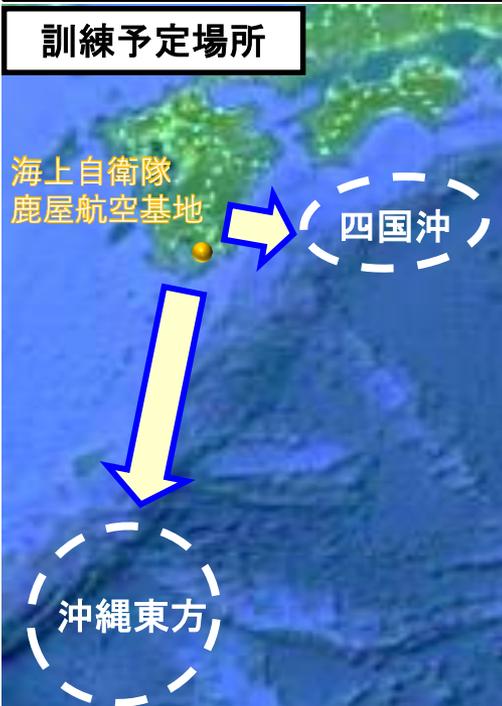
⑤海上作戦

- 四国沖の訓練海空域で実施される統合対艦攻撃訓練に連携して統合電磁波作戦訓練を実施します。本訓練のため、海上自衛隊及び航空自衛隊の電子戦部隊(UP-3D及びEC-1)が海上自衛隊鹿屋航空基地にそれぞれ展開し、訓練に参加します。
- 鹿屋基地に展開した海上自衛隊及び航空自衛隊の航空機(P-1、EC-1)が四国沖及び沖縄東方海域で実施される統合対艦攻撃訓練及び統合海上作戦訓練に参加します。

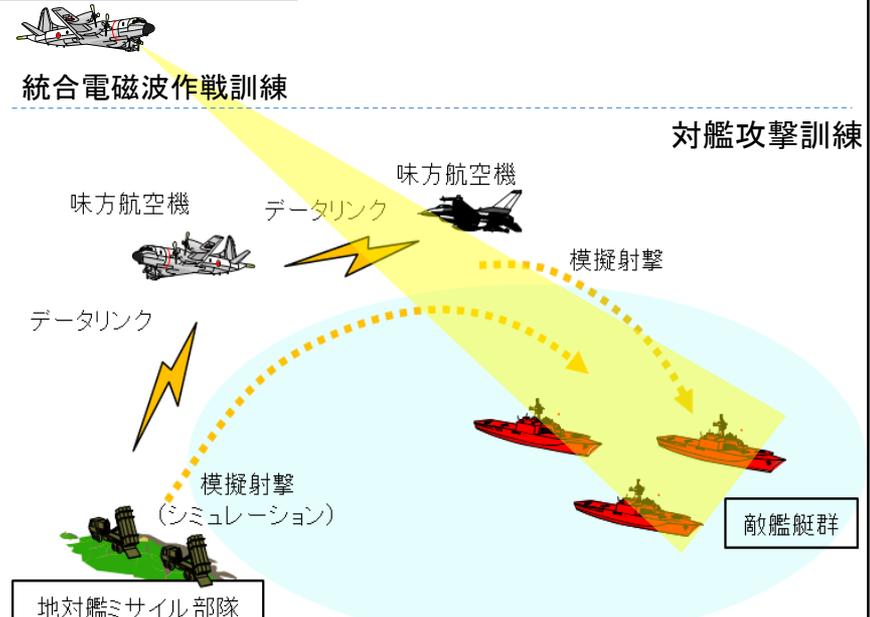
【期 間】 令和6年10月23日(水)～11月1日(金) ※ 土日、夜間の飛行を含みます。

【参加部隊】 海上自衛隊岩国航空基地所属	多様機(UP-3D)1機	約10名
海上自衛隊鹿屋基地所属	哨戒機(P-1)1機	約10名
航空自衛隊入間基地所属	電子戦訓練機(EC-1)1機	約15名

訓練予定場所



訓練イメージ



鹿児島県内で実施を計画している訓練内容

⑥統合後方補給・衛生訓練

- ① 徳之島において、救護所の開設・運営訓練、航空機（陸自CH-47又は陸自V-22）を使用した沖縄県への患者後送訓練を実施します。
- ② 奄美大島において弾薬補給訓練を実施します。
- ③ 鹿児島港から徳之島平土野港、沖縄県へチャーター船を使用して部隊等の輸送訓練を実施します。

【期 間】①10月23日(水)～11月1日(金)、②10月21日(月)、③調整中

【参加部隊】①陸上総隊、水陸機動団、第1空挺団、第1ヘリコプター団、自衛艦隊、航空総隊、輸送艦×1、CH-47×1又はV-22×1 ②西部方面隊、支援集団、C-130、大型トラック、弾薬 ③調整中

訓練予定場所及び訓練イメージ

【凡例】茶線：陸路、紫線：海路、青線：空路



鹿児島県内（奄美大島）で実施を計画している訓練内容

⑥統合後方補給・衛生訓練

陸上自衛隊の部隊が生地（奄美パーク（旧滑走路））に展開し、補給品の集積の訓練を実施します。補給品の集積にあたって生地にコンテナを運搬し、一時的に設置します。各種コンテナの輸送のため名瀬港を使用する予定です。

また、奄美駐屯地において患者後送訓練を実施し、UH-1×2機が奄美駐屯地で離着陸します。

【期 間】令和6年10月23日（水）～11月1日（金）（前後に準備期間及び撤収期間を設定）

【参加部隊】陸上自衛隊：北部方面隊（第5旅団等）、UH-1×2機

訓練予定場所

補給品等は、民航フェリー等で名瀬港に輸送予定です。



展開人数等

基地等	展開等する陸自部隊
奄美駐屯地	第5旅団第5飛行隊 約20名 (UH-1×2)
奄美パーク (旧滑走路)	第5旅団第5後方支援隊 約180名 北部方面後方支援隊 約30名
名瀬港	コンテナ等を海上輸送する際に使用します

訓練イメージ



鹿児島県内で実施を計画している訓練内容

⑦航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練)

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される統合防空ミサイル防衛及び統合対艦攻撃訓練に参加し、それぞれの対処要領について演練します。その際、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、徳之島空港及び奄美空港に一時的に退避する訓練(機動分散運用)を計画しています。

【期 間】令和6年10月23日(水)～11月1日(金) (土日の運航を含む。)

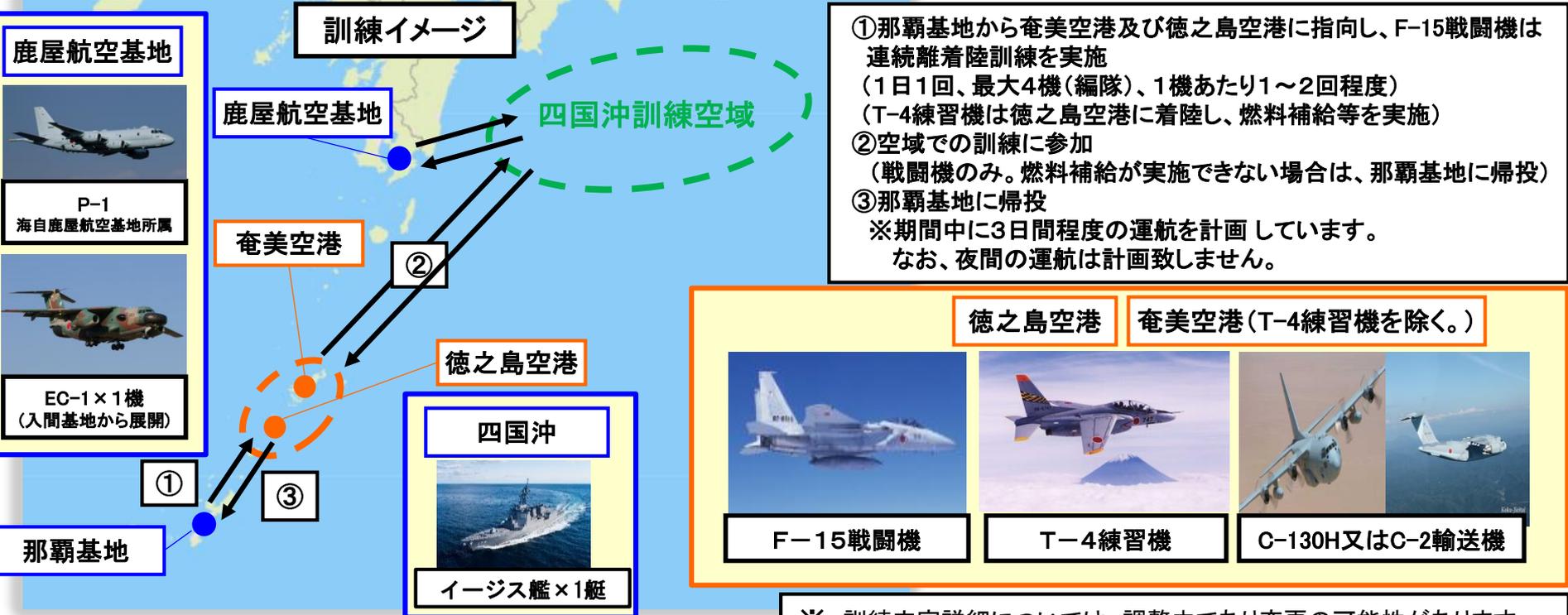
【参加部隊】高射特科部隊 海:イージス艦 空:航空部隊、航空警戒管制部隊、高射部隊、支援部隊等

【奄美空港】人員約10名 F-15戦闘機×4機(最大)、車両器材等

【徳之島空港】人員約30名 F-15戦闘機×4機(最大)、T-4練習機×2機(最大)、車両器材等

※1:T-4練習機については、人員輸送及び装備品等の輸送所要に備え、徳之島空港への展開を計画しています。

2:訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機(C-130H又はC-2)の運航を計画する可能性があります。



※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

鹿児島県内（奄美大島）で実施を計画している訓練内容

⑧沿岸監視訓練・対空戦闘訓練

陸上自衛隊の偵察部隊が奄美大島の生地に展開し、レーダー等の器材を活用して沿岸監視訓練を実施するとともに高射特科部隊がミサイル等への対処について対空戦闘訓練を実施します。

【期 間】令和6年10月23日（水）～11月1日（金）（前後に準備期間及び撤収期間を設定）

【参加部隊】陸上自衛隊：北部方面隊（第5旅団、第1地对艦ミサイル連隊）、東部方面隊（第2高射特科群）

訓練予定場所

車両等は、民航フェリー等で名瀬港に輸送予定です。



展開人数等

基地等	展開等する陸自部隊
奄美少年自然の家	第5旅団第5偵察隊 約20名
蒲生崎観光公園	第5旅団第5偵察隊 約10名
あかさき公園	東部方面隊第2高射特科群 約10名
今井崎	第5旅団第5偵察隊 約5名
梵論瀬崎	第5旅団第5偵察隊 約5名
赤土山展望台	第5旅団第5偵察隊 約5名
白浜海水浴場	第5旅団第5偵察隊 約5名
高地山展望台	第5旅団第5偵察隊 約5名
タカバチ山	第5旅団第5偵察隊 約5名
笠利崎	北部方面隊第1地对艦ミサイル連隊 約5名
あやまる公園	北部方面隊第1地对艦ミサイル連隊 約5名
二つの海が見える丘	北部方面隊第1地对艦ミサイル連隊 約5名
崎原桜通り	北部方面隊第1地对艦ミサイル連隊 約5名

訓練イメージ



鹿児島県内(沖永良部島)で実施を計画している訓練内容

⑨航空作戦(高射部隊の機動展開訓練)

航空自衛隊の高射部隊が、統合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、沖永良部島内において機動展開訓練を実施します。併せて、通信の中継訓練を実施するため、通信部隊が生地に展開します。

【期 間】令和6年10月23日(水)～10月26日(土)(基準)(事前に準備期間を設定)

【参加部隊】北部航空方面隊北部高射群(人員約50名、車両器材約25台等)

航空システム通信隊(人員約20名、車両約9台)

なお、実弾の使用はありません。

訓練予定場所



射撃統制装置



発射機



調整中



沖永良部島への移動はフェリー及び陸路(調整中)
島内移動は陸路を計画。

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

鹿児島県内で実施を計画している訓練内容

⑩統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、四国沖で実施される統合対艦攻撃訓練に連携して行われます。

本訓練のため、陸上自衛隊の電子戦部隊が佐多射場及び奄美大島分屯基地にそれぞれ展開し、電波状況の確認等を実施します。

本訓練では実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運行等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】

陸上自衛隊西部方面隊

○ 陸上自衛隊佐多射場 : 10月23日(水)～10月25日(金)
(事前に準備期間を設定)

○ 奄美大島

航空自衛隊奄美大島分屯基地 : 10月26日(土)～10月31日(金)

【参加部隊】

陸上自衛隊西部方面隊 : 約20名(車両(NEWSを含む。)×7両)

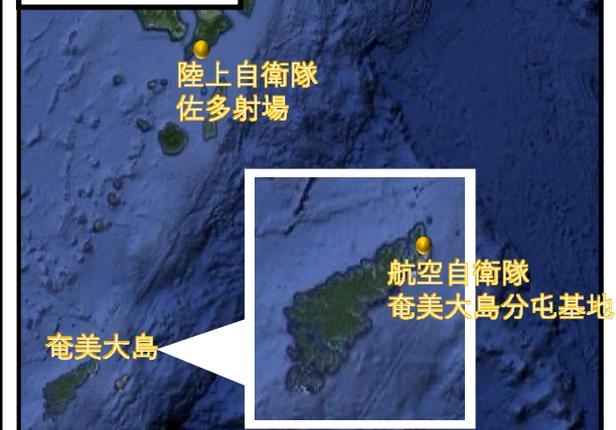
○ 陸上自衛隊佐多射場 : 約10名(車両(NEWSを含む。)×3両)

○ 奄美大島

航空自衛隊奄美大島分屯基地 : 約10名(車両(NEWSを含む。)×4両)

訓練予定場所

(鹿児島県)



展開する主要装備品



※ NEWS:Network Electric warfare System
(ネットワーク電子戦システム)
電波の収集等を実施